

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	市民クラブ
活 動 項 目	先進地視察先・研修会開催・研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和6年8月5日（月）
参 加 者 名	中川とみ子、枝松直樹、佐藤昇
視 察（ 研 修 ） 地	北海道 美瑛町
目 的	日本で最も美しい村づくりについて
調査（研修）項目等	1. 美しい村づくり協議会の活動内容 2. 看板プロジェクトと景観維持に対する住民の意識と合意 3. 交流、関係人口はどのように推移しているのか
概 要	四季彩の丘の風景が有名な北海道美瑛町は浜田前町長による呼びかけにより「日本で最も美しい村」連合が設立され、59町村が参加し、1. 将来にわたって美しい地域づくりをおこなう2. 住民によるまちづくり活動を展開する地域の自立3. 生活の営みにより作られた景観や環境を守り活地域源の保護及び地域経済の発展の三つを目的に活動しています。活動内容としては日本で最も美しい村のブランド化を目指した地域の自立、発展に向けた調査研究、シンポジウムの開催、サポーター企業との交流の実施。 街中では電柱の地中化、高い建物も無く統一化され流雪溝の整備もされていました。
所 感	コロナ禍が明けて、より多くの観光客が訪れる様子は羨ましくも思えますが、様々なトラブルの発生に苦慮されておりルールづくりと周知の大切さを感じました。しかし何より美瑛町の取組で学んだことは、綺麗な街づくりを市民みんなで成しえることは住民の地域愛の根幹になりえるもので観光だけでなく未来の街づくりに大きく寄与するはずで、美しい温泉城下町かみのやまを市民皆の力で実現したいと再認識しました。

様式第9号（第5条関係）

政務活動に係る活動報告書

会派名	市民クラブ
活動項目	先進地視察 研修会開催・研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和6年8月6日（火）
参加者名	中川とみ子、枝松直樹、佐藤昇
視察（研修）地	北海道 東川町
目的	東川町のまちづくりの理念について
調査（研修）項目等	1. 適疎推進課の創設とまちづくりの理念 2. デザインミュージアム建設事業の目指す理念 3. 子育て世代の移住増の要因はなにか 4. 公設民営酒造会社の経営の状況
概要	鉄道も国道もない東川町は地下水に恵まれ、北海道で唯一上水道がありません。その町が近年、全国的に写真映りの良いまちづくりを目指し全国から積極的に移住者を受け入れた結果、人口が30年間にわたって増え続けて一時7千人まで落ち込んだまちが、8千5百人代まで増えています。前町長の発案により過疎は困るがほどほどにまばらな「適疎」にこだわり適疎推進課を設立し、移住者増にもつなげました。そのほか、写真の街を宣言し、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」を開催しており、木工の街として木工のアトリエやギャラリー、カフェやベーカリーショップ、などが次々と誕生しています。教育の分野でも、小学校の新設で特徴的な教育プログラムや豊富な体験プログラムがくまれています。
所感	公設民営の酒造会社も順調に業績を伸ばしているとのこと で、本市においても、以前に提案された市産のワイン葡萄を使った大手ワイナリーが手掛ける上山ワインの醸造ボトリングも市内に大手ワイナリーが出来れば、他の市内ワイナリーと手を組んでワインツーリズムが可能になるとも感じるものでした。 街が持つ潜在的な魅力が何なのかを探りながらも、人口減少に危機感を持つだけではダメなことも学んでまいりました。

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	市民クラブ
活 動 項 目	先進地視察 研修会開催・研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和6年8月7日（水）
参 加 者 名	中川とみ子、枝松直樹、佐藤昇
視 察（ 研 修 ） 地	北海道 石狩市
目 的	大型児童館「あいぽーと」について
調査（研修）項目等	1. 施設の目的と開設までの経過 2. 年代別利用者数と利用状況 3. 子育て支援拠点としての役割 4. 保護者と子ども達の施設への期待や要望
概 要	市の総合保健福祉センター内で開設していた直営デイサービス事業が手狭となったなどの理由から、子どもの居場所づくりを重要施策と位置付け、多くの子ども達の意見を反映させながら、平成23年に石狩市こども未来館あいぽーとをオープンしました。0歳から高校生までを対象とした施設で運動や体を動かす遊びが出来たり、ボードゲームや読書を楽しめるラウンジ、親子で利用できる施設、外には農業体験もできる畑があったり、音楽活動ができる防音された部屋もあり、様々な用途に利用できる施設と言えます。この施設は子どもたちの自主的な運営を尊重し、小学3年生から高校生までの子ども達で構成される子ども会議において、施設の使い方やイベントを行うといった運営をおこなっています
所 感	子ども達の居場所づくりは、本市においても大きな課題であり、大人目線で作られた施設を数多く見てきましたが、この「あいぽーと」の取組は、企画運営まで子ども達の考えをしっかりと取り入れられていることに感激し、子ども達の居場所づくりに、参考とすべき取組であると感じました。